



高原の自然館ニュースレター

# 苅尾電波塔

第19号

2005.7.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。  
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめてもっぱら「かりお」の名前をつけています。

## もくじ

### お知らせ

- カワシンジュガイとアブラボテを展示

### 活動報告

- 阿佐山の植物と昆虫
- 八幡湿原再生プロジェクト 夏の植生調査

### 読者サロン

- テーマトーク  
「野外でオススメの一品」

### 観察会案内

- 昆虫の観察会
- 湿原の植物観察会

### 花だより

- オカトラノオ
- オオハンゴンソウ
- ジュンサイ

## お知らせ

**カワシンジュガイとアブラボテを展示しています**  
(2005.6.12)

北広島町に生息するカワシンジュガイとアブラボテを館内に展示しています。北広島町が世界の中で生息地の南限にあたるめずらしい貝とその貝に産卵するタナゴの仲間です。ぜひご覧下さい。

## 活動報告

### 阿佐山の植物と昆虫

開催日時：2005年6月19日（日）9：30

講師：暮町昌保・佐久間智子

昨年は天候の都合で断念した観察会でしたが、今年は好天に恵られました。集合場所の清流の家には早くから参加者が集い、出発の待ち遠しい感じでした。あいにく昆虫の先生の都合が悪く、植物のみの観察になりましたが、山歩きを堪能しました。カエデ8種をしっかりと覚えようとか、チャルメルソウの覚え違い発見が今日の収穫とか、マムシグサの性決定、ハナイカダの実など、充実した観察会でした。（柳崎誠子）



マムシグサ。これは雄花です。このあとすぐ雌花もあり違いをしっかりと確認しました。



ツキノワグマのフン。



まずは、マムシグサの説明、雄雌性転換や花の構造の違いについて。



コミネカエデ。



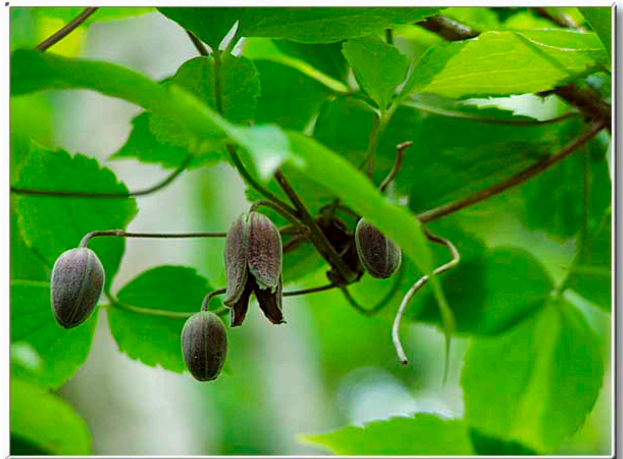
「これは何カエデですか？」



山頂で記念写真.



「阿佐山には 8 種のカエデがあります」と、標本を使って特徴の説明.



ハンショウヅル.



カエデの説明を熱心に聞く.



おつかれさまでした。お土産は暮町先生の育てたクリンソウ.

## 活動報告

### 八幡湿原再生プロジェクト 夏の植生調査

開催日時：2005年6月26日（日）9：30

参加人数：14名

今回のイベントでは、新しい試みが行われました。それは、前日に開催された懇親会です。アットホームな雰囲気の中で、10人の方々が参加されました。自然館のスタッフも勢揃いし、普段とは違った場で歓談を楽しみました。そのまま民宿に宿泊した参加者の方は、翌日も民宿でお弁当を用意していただいたようで、なかなか好評のようでした。要望があれば、また行いたいと思います。

そして調査当日。総勢17人が参加しました。はじめに高原の自然館で八幡湿原再生事業の目的と経緯、土嶽地区の植生の移り変わり、西中国山地自然史研究会の行ってきた活動などについて話を聞いて頂きました。

現地では、折しもヒメシジミの発生時期だったので、チョウの専門家であり八幡湿原再生協議会の委員も務められる上手さんにヒメシジミのお話をして頂きました。ヒメシジミは九州ではすでに絶滅しており、広島の個体群は非常に貴重な草原生のチョウです。八幡湿原再生事業においても、このチョウの保全について重要視されています。また、実際に乾燥した場所を歩き、コンクリートの排水路を見て頂きました。11:00頃から調査をはじめたのですが、1時間も経たないうちにポツポツと雨が降り始めました。まとまって降りそうだったので、調査は一時中止。山麓庵で昼食にしました。食事が終わるころ、ちょうど雨も止んだので午後から再開。15:00まで調査しました。その場で座談会をして、解散となりました。

初めて参加される方も多かったのですが、少しでも植生調査がどんなものか分かって頂けたと思います。みなさんお疲れ様でした。（白川勝信）



「ぶなの里」で行われた懇親会の様子。山のこと、八幡のことなど話題は尽きず、夜遅くまで続いた。



調査をはじめる前に、非常に貴重なチョウ、ヒメシジミのことについて上手さんにお話いただいた。



地下水位調査のための観測井戸、湿原を減少させた原因のコンクリート三面張り水路などを見学。



十分に事前知識を得た後、調査開始。



調査を終えての座談会。



こうして蓄積されたデータが再生事業に活かされる。



同じ植物を見るにも、いろいろな見方がある。そうして、山を歩く時の視点もいろいろ。



プロットナンバー「2-0」がなかなか見つからなかった。



今回参加頂いたみなさん。

## 観 察 会 案 内

### 昆虫の観察会

開催日時：2005年7月30日（土）18：30  
集合場所：高原の自然館  
講師：清水健一  
準備：長袖のシャツ，帽子，ルーペ，図鑑，メモ，おやつ等  
定員数：30名  
参加料：300円  
（ただし，西中国山地自然史研究会会員は100円）

明かりを灯した布に寄ってくる虫を観察します。いつものように歩きまわる観察会ではなく，のんびりと待ちかまえての観察です。夜の虫たちの生態を覗いてみませんか？

### 湿原の植物観察会

開催日時：2005年7月31日（日）9：30  
集合場所：高原の自然館  
講師：佐久間智子・白川勝信  
準備：山を歩ける服装，弁当，雨具，ルーペ，図鑑，メモ，おやつ等  
定員数：30名  
参加料：300円  
（ただし，西中国山地自然史研究会会員は100円）

八幡を代表する植生の一つが湿原です。気温が最も高くなるこの時期，湿原でも様々な植物が花を付けます。今回は，例年よりも3週間ほどずらしての開催です。さて，どんな違いが見られるのでしょうか？

### ※ 民宿について

今月は2つの観察会が連続で行われます。宿泊を希望される方はご連絡ください。

## 読 者 サ ロ ン

このコーナーではみなさんから頂いたお便りをご紹介します。

### テーマトーク

今回のテーマは、『野外でオススメの一品』です。と，募集したのですが，今月はみなさんからの投稿がありませんでした。さみしい・・・

そこで，僕からもう一品オススメの品を紹介します。それはLEDのライトです。ボタン電池で点灯するのですが，明るさもまずまずで，真っ暗な場所で鍵穴を探したり，テントの中で手元を照らすのに重宝します。小さいので，上着のファスナーに付けておいても気にならないくらいです。山道具屋さん普通に置いていますよ。

今月のテーマも引き続き、『野外でオススメの一品』です。もちろん，テーマ以外のお便りもお待ちしています。

## 花 だ よ り

### ジュンサイ

尾崎沼で見られる浮葉植物です。新芽を食用にしますが，真っ赤なおしべを持つ花もなかなかきれいです。朝咲いて昼にはしおれてしまうので，早起きして双眼鏡を持って出かけましょう。

「降りませんねー」「降らんねー」が毎日の挨拶のように定着していましたが，やっと恵みの雨がやってきました。八幡の道路が濡れていると，なんだかホッとします。おかしなものです。＜おしらせ＞でも書きましたが，高原の自然館でカワシンジュガイとアブラボテを展示しています。コポコポと涼しげな音が聞こえてくるのですが，水槽の中では，縄張りを主張して攻撃するオスが見られます。繁殖期で気が立っている（？）様子が良く分かりますよ。

記事に関するお問い合わせ，観察会のお申し込み先（ご意見・ご感想もお待ちしています）

### 高原の自然館（こうげんのしぜんかん）

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原119-1  
tel. & fax : 0826-36-2008  
<http://shizenkan.info/>  
[staff@shizenkan.info](mailto:staff@shizenkan.info)